

市長公約の取組状況

(平成25年度までの実施内容)

平成26年5月
苫小牧市

市長公約の取組状況を公表します

岩倉市長は、2期目の市長選挙において、「市民の皆さんとのお約束」として、5つの基本政策を柱とする30項目にわたる公約を掲げ、これらすべてを4年間のうちに達成できるよう政策に盛り込み、着実に取り組んでおります。

政策推進課では、市長公約として掲げた政策の取組状況を市民の皆さんに知っていただくため、独自の判断基準により、公約の進捗度（取組状況）を5段階で評価しております。平成25年度までの取組に対しては、30項目の公約のうち26項目、全体の87%を進捗度5といたしました。

未達成の項目につきましては、今後も取り組みを進めてまいります。

目次

市長公約の取組状況について

P 1

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

(1) 財政健全化を最重要課題として引き続き取り組みます	P 2
(2) 行政改革に取り組み、市民サービスを向上させ、市役所を効率的、機能的な組織にします	P 2
(3) 自治体としての経営意識を強く持つとともに地域間連携を強めます	P 3
(4) 職員の意識改革に継続して取り組み、市民から信頼ある市役所をつくります	P 3
(5) 情報発信や情報共有などを充実させ、市民により身近な市政を目指します	P 4
(6) 公共施設の未来を見据えたあり方を検討し、有効利用を図ります	P 4

2 自然を活かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

(1) 一般廃棄物処理基本計画に基づきごみの減量化を進めます	P 5
(2) CO ₂ 削減に取り組み、そのための具体的な事業を実施します	P 5
(3) 上下水道の安定供給・維持に取り組み、快適生活を保持します	P 6
(4) ウトナイ地区の環境保全に努め、市民の憩いの場とします	P 6
(5) 東西地域の特性を活かした地域振興計画を策定します	P 7
(6) 苦小牧の自然を満喫できる事業に取り組みます	P 7

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苦小牧 導きます！	
(1) 中央インターチェンジ実現に引き続き取り組みます	P 8
(2) 「海と空のダブルポートのまち」の特性を活かし、苦小牧港の施設整備、新千歳空港の機能強化を進めます	P 8
(3) 市民に親しまれる港を目指し、市民のための港づくりをします	P 9
(4) CAP（まちなか再生総合プロジェクト）に基づき活気ある中心市街地を形成するとともに人口減少や超高齢社会を見据えたまちづくりを進めます	P 9
(5) 苦小牧の地域特性を活かした企業、プロジェクト誘致や1次産業の育成に取り組みます	P 10
(6) 地域経済の活性化ときめ細やかな雇用創出に取り組みます	P 10

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！	
(1) 子育て世代を支援します	P 11
(2) 高齢者・障害者に住みよいまちをつくります	P 11
(3) 市民の安心できる医療体制、健康支援に取り組みます	P 12
(4) 米軍再編の訓練移転などの対応には市民の安心、安全確保を最優先に取り組み、また、防災対策緊急出動態勢などの充実を図ります	P 12
(5) 小中学校の適正配置を行い、教育環境を整備します	P 13
(6) 公営住宅の建替え事業、補修事業を計画的に行い、快適居住空間を提供します	P 13

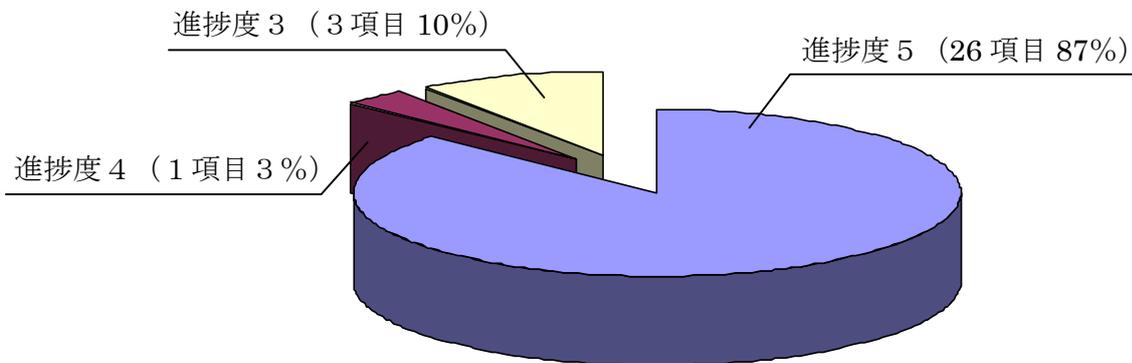
5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる暖かなまち苦小牧 愛します！	
(1) 芸術に触れる機会を多くし、身近なものにします	P 14
(2) 国際都市苦小牧を目指し、市民による国際交流事業を発展させます	P 14
(3) スポーツ施設の充実、有効利用を図ります	P 15
(4) 市民参加型健康事業の取り組みや、スポーツ祭の充実を図ります	P 15
(5) 苦小牧の自然や文化財、歴史的建造物などの利活用を図り、苦小牧をPRしていきます	P 16
(6) 市民の自主的活動を支援し市民との協働を進めます	P 16

市長公約の取組状況について

◆ 各項目の進捗度の表示方法

- 進捗度：5 ★★★★★ 100%実施済（継続実施含む）
- 進捗度：4 ★★★★★☆ 70～90%程度実施
- 進捗度：3 ★★★★★☆☆ 50～60%程度実施
- 進捗度：2 ★★★★★☆☆☆ 30～40%程度実施
- 進捗度：1 ★★★★★☆☆☆☆ 10～20%程度実施
- 進捗度：0 ☆☆☆☆☆☆☆ 未着手

◆ 進捗度総括（25年度実績）



《25年度実績》

- 87%、26項目が実施済（完了または継続実施中）の状況である。
 - 3%、1項目が7～9割程度の実施状況である。
 - 10%、3項目が5～6割程度の実施状況である。
- （※進捗度2以下は該当無し）

市長公約の取組状況一覧

平成26年4月1日現在

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！				
公約の内容	公約の取組状況		担当部課	進捗度
(1) 引財政 引き 健全 化取 り組 み最 重要 課題 とし て	①新健全化計画の策定（企業・特別会計の閉鎖・見直し、基金積み立てルール化確立）	【平成26年3月までの実施内容】 財政健全化計画ステップ2及びステップ3を策定し、健全化の取組を推進したほか、基金の確保については計画期間中の目標額を設定しました。また、自動車運送事業会計及び沼ノ端鉄北土地地区画整理事業会計の閉鎖、さらに、市営住宅事業会計を一般会計に移行しました。	財政部 財政課 都市建設部 総務課 都市建設部 住宅課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②市民にわかりやすい健全化目標を設定し、その進捗状況を公表	【平成26年3月までの実施内容】 経常収支比率・公債費比率・実質公債費比率の3指標を数値目標から一定の幅での管理に変更して、財政健全化計画ステップ3の中で市民に分かりやすく示しました。	財政部 財政課	
(2) 市行政 所改 革に 効取 的組 み機 能 的市 民サ ービ ス向 上さ せ	①新行革計画の策定（保育園の民営化、図書館の指定管理者制度導入、第1学校給食共同調理場の調理業務の民間委託）	【平成26年3月までの実施内容】 平成22年度に行政改革プランを策定し、中間年の見直しを経て平成25年度までに合計84の項目に基づき取組を進めました。これまでの主な取組状況としては、市営バスやすみれ保育園の民間移譲、第1学校給食共同調理場調理業務の民間委託、指定管理者制度の導入拡大などが挙げられ、当初計画した効果額を上回る結果となりました。	総務部 行政監理室	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②職員数、給与の適正化・人事評価制度の導入	【平成26年3月までの実施内容】 職員数については、民間委託や民間移譲の実施、指定管理者制度の導入などの取組により、平成22年から4年間で110人の削減を行いました。給与の適正化については、国公準拠を基本に、通勤手当、住居手当、特殊勤務手当、退職手当の見直しを行いました。	総務部 行政監理室	
	③市営バス事業の民間移譲後も市民の足を守り、新たな公共交通システムを策定	【平成26年3月までの実施内容】 市営バス運行路線は、平成24年4月に民間事業者へ移譲しました。移譲後も、それまでと同等の利用者数となっており、また、植苗・美沢地区コミュニティバス及び樽前予約運行型バスについても概ね順調に運行を続けています。	総合政策部 まちづくり 推進課	

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
<p>(3) 自治体と地域との経営意識を強く持つ</p>	<p>①東胆振、胆振全体の広域連携をステップアップ</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>胆振管内全自治体で構成する「いぶり次世代鉄道政策研究会」を開催し、胆振地域が北海道新幹線札幌延伸の効果を最大限享受できるよう検討を進めました。さらに平成25年度には、この研究会を発展させた「北海道新幹線×nit-tan地域戦略会議」を立ち上げ、胆振・日高地域の全18市町をはじめとする構成員で取組を進めました。また、東胆振広域圏振興協議会において、東胆振広域圏消防広域化検討会の廃止が議決されましたが、今後も応援協定などで連携していくことを確認しました。</p>	<p>総合政策部 政策推進課</p> <p>消防本部 総務課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>5</p>
	<p>②様々な分野で相互に連携・協力する「東胆振定住自立圏構想検討会」の立ち上げ</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年度に設立した「東胆振広域圏定住自立圏構想検討会」において協議を進め、定住自立圏を形成すべきとの方針を確認し、平成26年度総会での結論報告に向け準備を進めました。</p>	<p>総合政策部 政策推進課</p>	
<p>(4) 市民からの意識改革ある市役所をつくり組めます</p>	<p>①庁内プロジェクトチームによる組織横断的政策形成</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年度に若手職員を中心とした「苦小牧市公共施設の在り方プロジェクトチーム」を設置したほか、平成24年度は専任嘱託職員2名を配置し、関係部所属の管理職とともに検討を進めました。また、平成25年度は、組織横断的政策形成を行う際の指針として「庁内プロジェクトチーム設置要綱」を策定しました。</p>	<p>総合政策部 政策推進課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>5</p>
	<p>②庁内にコンプライアンスマネジメント担当を置き、法令遵守を徹底</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年度に「コンプライアンス指針」を策定し、チェックシートによる自己検証や特別研修の実施等で指針の浸透を図りました。また、公益通報に係る要綱を作成し、研修及び庁内LANによる周知を行なったほか、「マニュアル作成の手引」を作成し、業務マニュアルの整備を進めました。</p>	<p>総務部 行政監理室</p>	

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

公約の内容	公約の取組状況	担当部課	進捗度	
<p>(5) 市民情報発信や身近な共有などを充実させ、</p>	<p>①市民参加型市政運営の推進（市民参加条例の普及啓発、まちかどミーティングの充実）</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>まちかどミーティングでは質問や要望の時間を長くするなど、市長との対話の中で市民の意見を多く集めることができるよう改善を図りました。また、市民の関心の高い項目について活発に意見交換を行いました。</p>	<p>総合政策部 市民自治推進課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p>
	<p>②市長出前講座、まちづくりトークを開催</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成22年度に市長出前講座を実施し、意見交換を行ったほか、平成26年5月の開催に向けて準備を進めました。まちづくりトークは「観光」、「国際交流」、「市と町内会との協働」及び「防災」をテーマに年1回開催し、様々な意見や提案をいただきました。</p>	<p>総合政策部 市民自治推進課</p>	
<p>(6) 公共施設の未来を見据えたあり方を検討し、</p>	<p>①公共施設の整備・配置・改修計画を策定</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年度に「苦小牧市公共施設の在り方プロジェクトチーム」を設置し、若手職員で構成する「ステップ1」において検討を進めました。平成24年度は「ステップ2」として、専任の嘱託職員と関係部所属の管理職で構成されるメンバーが、ステップ1の報告を踏まえたうえで、具体的な検討を行いました。平成25年度は、公共施設白書の策定に向け準備を進めました。また、平成25年度には公共施設整備基金を創設し、今後、一斉に更新時期を迎える老朽化した公共施設の更新に向けた財源の確保に備えました。</p>	<p>総合政策部 政策推進課 財政部 財政課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p>
	<p>②公共施設の耐震診断事業を計画的に実施</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>「苦小牧市耐震化整備プログラム」に基づき公共施設の耐震診断を実施しました。その結果を受け、小・中学校の耐震補強工事と老朽化した学校施設の改修及び改築を進めたほか、市営住宅については、一部改修や用途廃止する方針を固めました。</p>	<p>財政部 財政課 市民生活部 市民生活課 都市建設部 建築指導課 都市建設部 住宅課 教育部 総務企画課</p>	

2 自然を活かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(1) ご一般 の廃 棄物 の減 量 化 処 理 を 進 め ま す 計 画 に 基 づ き	①053大作戦を継続し、さらなるごみの減量やリサイクルの推進を実施	【平成26年3月までの実施内容】 平成22年4月から分別収集を開始したプラスチックの中間処理・資源化を同年10月から稼動したほか、平成23年度にはリサイクルボックスの設置や小型電子機器回収を開始し、分別品目の拡大やリサイクル推進に努めました。また、平成24年度から平成25年6月にかけて『053大作戦～ステージ3～』を展開し、平成25年7月からの家庭ごみ有料化や紙類資源化の円滑な導入を図りました。	環境衛生部 減量対策課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②家庭ごみ有料化と分別品目の拡大	【平成26年3月までの実施内容】 平成25年7月からの家庭ごみ有料化及び紙類資源化の開始に向け、出前講座や市民説明会等によりきめ細かな説明を行い、市民周知を図りました。また、せん定枝や蛍光管の資源化を開始し、分別品目の拡大に取り組んだ結果、家庭ごみ有料化後のごみ排出量は全体で23%の減となり、計画に沿ってごみ減量とリサイクル推進が図られています。	環境衛生部 減量対策課	
(2) 具 体 的 な 削 減 事 業 に 取 り 組 み ま す そ の た め の	①太陽光発電、ペレットストーブなどの省エネ機器購入補助	【平成26年3月までの実施内容】 CO ₂ 削減の取組として、平成22年度までペレットストーブ購入に対する助成を実施しました。また、平成21年度に住宅用太陽光発電システム設置費補助金を創設し、省エネ機器の導入を推進しました。	環境衛生部 環境保全課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②目標値を設定したCO ₂ 削減運動を実施	【平成26年3月までの実施内容】 エコドライブ宣言の募集や、苦小牧市環境基本計画推進会議による環境保全事業及び、地球温暖化防止等に関する出前講座の開催、小学生向け環境教育副読本による啓発事業等を実施し、「1人1日1.5kgのCO ₂ 削減」の目標達成に向けた行動を展開しました。また、事業所向けには、地球温暖化防止に向けてエコオフィス宣言を募集しました。	環境衛生部 環境保全課	

2 自然を活かし、環境と調和のとれた美しいまち苫小牧 守ります！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(3) 取上下 組水道 み道快 の適安 生定 生活給 を保持 ・維持 します	①合併処理浄化槽計画の策定	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年度に「合併処理浄化槽設置事業」実施に向けた整備計画を策定し、平成24年度から市街化調整区域かつ下水道認可区域以外の地域の合併処理浄化槽設置希望世帯を対象とした補助制度や当該補助金を受けられる方に対する無利子貸付金制度を創設しました。	環境衛生部 清掃事業課	★★★★★ 5
	②基本水量の見直しによる料金制度の改定	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年度に家事用水道料金について、基本水量の見直しと料金体系の簡素化を行い、基本料金を引き下げました。	上下水道部 営業課	
(4) 市ウ 民ト のナ 憩イ い地 の区 場の と環 境保 全に 努め、	①道の駅ウトナイ湖や野生鳥獣保護センターと連携した環境保全への取組と観光アンテナショップ機能強化	【平成26年3月までの実施内容】 大型観光案内看板及び中国の長寿山石で作製したとまちョップ石像の設置など、道の駅ウトナイ湖を観光拠点として誘客に努め、平成25年度に入館者数300万人を達成しました。また、ウトナイ湖のラムサール条約登録20周年記念事業、野生鳥獣保護センターでの自然観察指導及び出前講座の開催などにより自然環境保全の啓発活動を実施しました。	環境衛生部 環境生活課 産業経済部 商業観光課	★★★★★ 5
	②カヌーポート（乗降場）の整備着手	【平成26年3月までの実施内容】 平成24年度に上流部の松美々橋下流のカヌーポートと下流部のタップコップ親水公園カヌーポートを整備し、平成25年4月に供用開始しました。また、平成25年度に中流部の第2美々橋カヌーポートの整備を行い、事業が完了しました。	総合政策部 空港政策課 都市建設部 道路河川課	

2 自然を活かし、環境と調和のとれた美しいまち苫小牧 守ります！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(5) 地東 域西 振地 興域 計の 画特 を性 策を 活 か し ま す	①植苗・美沢土 地利用計画の改 訂	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年度に「苫小牧市植苗・美沢地区土地 利用計画」の後期計画を策定し、当該計画に基 づき平成24年度から「美々川体験拠点づく り」として順次カヌーポートを整備しました。 また、新千歳空港を活用した航空機関連産業の 誘致、空港支援サービス機能等の配置のため、 植苗・美沢地区土地利用計画促進事業を実施 し、新千歳空港周辺土地利用構想の策定に向け 取組を進めました。	総合政策部 空港政策課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②西部地域住民 との協働による 地域検討会の立 ち上げ	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年度から苫小牧市樽前地区地域振興計 画検討会を開催し、地域振興の基本方針や実現 方策等をまとめた樽前地区地域振興計画を策定 しました。また、平成25年度には、樽前振興 計画懇談会を立ち上げ、当該計画の推進を図り ました。	総合政策部 まちづくり 推進課	
(6) 事苫 業小 に牧 取の り自 組然 みを ま満 す喫 で 可 る	①ナナカマド、 ハナショウブ、 ハスカップいっ ぱい運動を展開	【平成26年3月までの実施内容】 公園や公共施設等への植栽を進め、都市景観の 向上に努めました。	都市建設部 緑地公園課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②つた森山林を 使ったフットパ スや歩くスキー コースの整備	【平成26年3月までの実施内容】 森林の保全や利活用に取り組んでいるNPO法 人が実施する各種事業への協力などを通じ、苫 東地域の自然と共生する立地環境づくりへの支 援や協力を行うとともに、苫東の豊かな自然環 境のPRなどの周知活動に積極的に取り組みま した。	産業経済部 企業立地課	

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(1) 中央 引き 続き イン ター チェ ンジ 実 現 に 関 連 す る	①建設主体の決定	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>物流の効率化や広域医療への貢献など、中央インターチェンジの必要性を訴え、北海道が事業主体となって建設していただけるよう要望活動を続けてきた結果、平成26年3月に北海道が事業主体となって中央インターチェンジを設置する方針が示されました。</p>	都市建設部 道路河川課	☆ ☆ ★ ★ ★ 3
	②緑跨線橋拡幅など関連する施設整備への取組	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成17年度から「緑跨線橋の拡幅」を市の重点要望事項に位置付け、国に対し継続して要望活動を行いました。</p> <p>【今後の実施予定内容】</p> <p>緑跨線橋の拡幅や中央インターチェンジ周辺道路に関する課題の整理について、国と連携して関係機関と協議していきます。</p>	都市建設部 道路河川課	
(2) 「小 海と 港の 空の ダブル ポート の 新千 歳空 港」 の 機 能 強 化 を 活 か し 、 新 千 歳 空 港 の 機 能 強 化 を 進 め ま す	①東港コンテナターミナルの機能強化と西港定期船岸壁の再編	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>東港における連続バースの整備やガントリークレーンの増設などから利用向上が図られ、平成25年4月にはロシア航路が再開し、平成26年3月には新たに韓国航路が就航しました。また、西港区西ふ頭の定期船岸壁の改良においては、狭隘なエプロンによる非効率な荷役や老朽化による岸壁の危険性が解消されました。さらに、両ふ頭とも耐震強化岸壁が完成し、災害時の緊急物資輸送対応が可能となっているなど、安全・安心の向上も図られています。</p>	産業経済部 企業立地課	☆ ☆ ★ ★ ★ 3
	②地域住民の意向を踏まえた新千歳空港の深夜早朝6枠拡大の推進	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成22年度から平成25年度までに「新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会」を5回開催し、平成25年度には北海道から提示された運用枠拡大に向けた必要枠数や住宅防音対策の案について協議を行いました。</p> <p>【今後の実施予定内容】</p> <p>北海道から提示された案について、各町内会で検討し、出された意見を地域協議会で協議していきます。</p>	総合政策部 空港政策課	

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苦小牧 導きます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
<p>(3)</p> <p>市民の港親づきまれの港を指し、市民の</p>	<p>①北ふ頭を中心としたクルーズ船の誘致</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年度に「苦小牧クルーズ振興協議会」を設立し、整備された北ふ頭緑地におけるクルーズ船歓迎行事の開催や誘致活動に取り組みました。また、平成24年度にはクルーズ船歓迎クラブ「苦人隊」を設立し、市民参加によるクルーズ文化の醸成を図りました。</p>	産業経済部 商業観光課	<p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>5</p>
	<p>②漁港区の活用による観光スポットづくり</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>市内の観光スポットを掲載した大型観光案内看板を設置するとともに、ホッキ貝などの地元特産品を活用したイベントへの協力等、水産観光による集客に努めました。</p>	産業経済部 商業観光課	
<p>(4)</p> <p>市街地を形成するなか再生総合プロジェクト（人口減少や超高齢社会に基づき活気あるまちづくりを進めます）</p>	<p>①東胆振1市4町の観光事業とグルメ戦略の推進</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>東胆振地域ブランド創造協議会において、東胆振スタンプラリーやいぶリアル体験パスポートを実施したほか、東胆振よくばり弁当を開発・販売するなど、グルメ戦略の推進による地域全体の魅力向上・活性化に取り組みました。</p>	総合政策部 まちづくり推進課	<p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>★</p> <p>5</p>
	<p>②まちなか居住や各種プログラムの取組</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>将来の人口減少・超高齢社会に向けて、長期的な都市運営の観点からまちづくりを進めるため、平成23年6月にCAPを策定しました。CAPに基づき、商店街などと連携した「まちゼミ」や「まちなかイベント」を開催したほか、子ども達のアイデアを具現化した「とまチョップ」の活躍、CAPの趣旨に賛同していただいた苦小牧信用金庫による「まちなか交流館」の建設など、各種事業を展開しました。</p>	総合政策部 まちづくり推進課	

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苦小牧 導きます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(5) 苦小牧の地域特性を活かした企業、プロジェクト誘致や1次産業の育成に取組みます	①トップセールスによる企業誘致、プロジェクト誘致（苦東）、CCS（CO2の回収・貯留）実証試験の誘致	【平成26年3月までの実施内容】 トップセールスを主軸とした積極的な企業誘致活動を展開しました。苦東地域においては、環境・エネルギー分野の立地が進み、大規模太陽光発電所の立地が実現しました。CCSについては、平成24年2月に苦小牧地点での実証試験が決定し、9年間に渡る実証プロジェクトが開始されました。	産業経済部 企業立地課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②中小企業や地元商業者のための（仮称）産業振興基本条例の策定	【平成26年3月までの実施内容】 平成24年9月1日に「商店街の活性化に関する条例」を施行し、条例の理念の普及啓発と商店街の取組に対するバックアップに努めました。また、中小企業基本条例検討懇話会の答申を受け、「中小企業振興条例」を平成25年4月1日に施行し、「中小企業振興審議会」を開催しました。	産業経済部 商業観光課	
	③苦小牧市の貝「ホッキ貝」の積極的PRや栽培漁業の推進	【平成26年3月までの実施内容】 ホッキ貝PR事業と苦小牧漁港ホッキまつりへの支援により市の貝「ホッキ貝」のPRと消費拡大を図りました。またマツカワ種苗放流事業を継続実施し、栽培漁業の推進に努めました。	産業経済部 農業水産課	
(6) 地域経済の活性化と取り組みをきめ細やかな	①若年層の就労等を支援する若者サポート事業の実施	【平成26年3月までの実施内容】 「苦小牧市若者自立支援ネットワーク連絡会議」を開催し、関係団体間の情報共有を図るとともに、とまこまい若者サポートステーションを中核とし、若年無業者の職業的自立に向けた取組を推進しました。	産業経済部 工業労政課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②新卒高校生等に対する雇用創出奨励金事業など雇用確保対策の実施（事業規模の拡充）	【平成26年3月までの実施内容】 新卒高校生等の雇用を促進するため新卒高校生等雇用奨励金事業やハローワークとの連携により「新規高卒者就職促進会」を継続して実施したほか、市が率先して雇用の場を確保する雇用創出事業を実施しました。	産業経済部 工業労政課	

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(1) 子育て世代を支援します	①乳幼児医療助成制度を段階的に小学6年生まで拡大	【平成26年3月までの実施内容】 子育て世代の経済的負担を軽減するため、平成23年度から小学生の入院についても乳幼児等医療費助成制度の対象としました。	健康こども部 こども支援課	★★★★★ 5
	②公共施設などに「赤ちゃんの駅」を開設	【平成26年3月までの実施内容】 平成24年度から各コミュニティーセンターや中央図書館等、全13の公共施設に「赤ちゃんの駅」を開設しました。	健康こども部 こども支援課	
(2) 高齢者・障害者に住みよいまちをつくりまします	①介護施設への入所待機者の段階的解消	【平成26年3月までの実施内容】 介護施設入所待機者数調査や介護サービス利用者アンケート等により、実態把握に努めたほか、市が指定・監督する地域密着型サービスのグループホームや小規模多機能型居宅介護、小規模特養等を整備し、待機者解消に取り組みました。	福祉部 介護福祉課	★★★★★ 5
	②介護支援ボランティア制度の導入	【平成26年3月までの実施内容】 平成24年度から高齢者が介護支援ボランティアを通じて地域貢献することで介護予防に繋がる、介護支援いきいきポイント事業を実施しました。平成25年度には登録者のスキルアップ研修会や受け入れ施設への説明会等を開催し、ボランティア数の増加や受け入れ施設の拡大を図りました。	福祉部 介護福祉課	
	③ふれあいごみ収集、ふれあい除雪を実施	【平成26年3月までの実施内容】 単身高齢者や障がい者等のうち、ごみステーションへの排出が困難かつ他の者の協力を得られない市民を対象に、市職員が戸別訪問し、安否確認のうえ、ごみ収集を行うふれあいごみ収集を継続実施しました。 また、自ら除雪を行うのが困難で、他の者の支援を受けられない世帯を対象に、ボランティアの協力を得て行う「雪かきボランティア制度」を平成23年度から3か年計画で試験導入しました。	環境衛生部 清掃事業課 福祉部 社会福祉課	

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

公約の内容	公約の取組状況	担当部課	進捗度	
<p>(3) 市民の安心できる医療体制、健康支援に取り組みます</p>	<p>①子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>平成23年1月から接種を希望する対象者に対し全額助成を開始しました。平成25年度からは予防接種法に基づく予防接種となり、接種を希望する対象者に全額助成を実施しました。</p>	<p>健康こども部 健康支援課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★ 5</p>
	<p>②市立病院の機能充実を図り、災害拠点病院としての指定</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>常勤医師や初期臨床研修医の確保に努めたほか、看護師確保に向け学資金貸与制度の拡充や初任給引上げ等を実施しました。平成23年11月には災害拠点病院の指定を受け、DMAT隊の整備や備蓄食料の確保等による病院機能の充実を図りました。また、新地域医療連携システムを導入し、情報開示病院として市内の医療機関との連携を深めました。</p>	<p>市立病院 経営管理課</p>	
	<p>③夜間休日急病センターの機能の維持・強化</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>関係機関の協力のもと、安定的な医師確保に努めました。また、インフルエンザの流行状況に応じて、土曜日の医師を増員して診察時間の短縮を実施するなど、更なる機能の強化・維持を図りました。</p>	<p>健康こども部 健康支援課</p>	
<p>(4) 米軍再編の訓練移転などの対応には市民の安心、安全確保を図ります</p>	<p>①危機管理マニュアル（個別版）の作成</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>想定される緊急事態についての各種マニュアルの策定や見直しを実施したほか、各課の業務において想定される緊急事態に対して、適切に対応できるよう個別危機管理マニュアルの作成に関する説明会を実施しました。</p>	<p>市民生活部 危機管理室</p>	<p>☆ ★ ★ ★ ★ 4</p>
	<p>②災害時要援護者避難支援プランを全町内会で策定</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>自主避難が困難な高齢者等の把握及び避難体制を定めるため町内会に対しプラン策定の呼びかけを行いました。策定した町内会には災害時要援護者の情報提供を依頼し、未策定町内会には説明会を開催して策定を依頼しました。</p> <p>【今後の実施予定内容】</p> <p>災害対策基本法の改正により、災害時要援護者を災害から保護するため、市が避難行動要支援者名簿を作成し、関係者と情報共有する制度が創設されたことから、本制度について町内会に説明し、同名簿の作成に取り組みます。</p>	<p>市民生活部 危機管理室</p>	
	<p>③市民の生命財産を守る消防救急業務の維持・強化</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>救急隊5隊体制を維持するため、救急救命士の養成を行なったほか、指揮隊を発足させました。また、空白地帯解消のため、庁舎の適正配置を図りました。</p>	<p>消防本部 総務課</p>	

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(5) 小中学校の適正配置を行い、教育環境を整備	①小中学校適正化方針に基づく統廃合、分離新設の着手	【平成26年3月までの実施内容】 拓進小学校の新築工事や平成25年3月の弥生中学校閉校に伴う苦小牧東中学校の特別支援学級設置工事、青翔中学校の増築工事等を実施し、適正配置の取組を進めました。	教育部 総務企画課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②学力向上への取組	【平成26年3月までの実施内容】 苦小牧市統一学力検査の実施により、各学校の学習指導の課題を明確化しました。また、対象を拡大したことにより経年の変化を把握し、その他の学力向上の施策の検証に役立てることが可能となり、検証の結果と全国学力・学習状況調査の結果等を基に「苦小牧っ子学力UP！ハンドブック」を作成し、教員の研修に役立てました。	教育部 指導室	
(6) 公営住宅の建替え事業、補修事業を計画的に行い、快適居住空間を提供します	①日新団地建替事業基本構想に基づき、日新団地の建替事業を推進	【平成26年3月までの実施内容】 日新団地建替事業では、平成22年度に基本設計を策定し、若草団地（1棟120戸）の実施設計及び建設を行い、平成26年3月に完成しました。また、日新団地の実施設計を行いました。	都市建設部 住宅課	★ ★ ★ ★ ★ 5
	②公営住宅の長寿命化計画を策定し、計画的改修の実施	【平成26年3月までの実施内容】 市営住宅長寿命化計画に基づく事業では、末広、大成、東開、沼ノ端中央、日新団地で外部改修を行い、東開、勇払、若草団地の駐車場整備を行いました。	都市建設部 住宅課	

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる暖かなまち苦小牧 愛します！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(1) 身近な芸術に触れる機会を多くし、	①博物館の複合施設として市民美術館を開設	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年度に苦小牧市美術館基本計画を策定した後、開館に向け増改築工事を実施し、平成25年7月に苦小牧市美術博物館としてリニューアルオープンしました。	教育部 美術博物館	★★★★★ 5
	②市民文化公園で芸術祭を開催	【平成26年3月までの実施内容】 平成22年度は市民文化公園芸術祭として、7月と8月に1日ずつ実施しました。平成24年度からは文化公園アートフェスティバルと名前を変えて7月下旬に3日間の日程で、文化芸術の鑑賞や誰でも気軽に参加・体験できるイベントとして開催しました。	教育部 生涯学習課 都市建設部 緑地公園課	
(2) 国際都市苦小牧を国際交流事業を発展させ、市民による国際交流事業を推進させます	①市民訪問団による30周年ネーピア市訪問事業を実施	【平成26年3月までの実施内容】 ネーピア市への訪問事業については、平成22年11月に実施し、両市の親交を深めました。また、平成25年4月には、ネーピア市訪問団が本市を訪問しました。	総合政策部 市民自治推進課	★★★★★ 5
	②秦皇島市との国際交流事業を継続実施	【平成26年3月までの実施内容】 秦皇島市友好サポーター事業やこども国際交流事業により、両市相互の訪問及び派遣を行い、友好都市への理解を深めました。平成25年度には、秦皇島市友好の会が設立されるなど、民間による交流についても活発に行われました。	総合政策部 市民自治推進課	

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる暖かなまち苦小牧 愛します！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
(3) 有効ポ リ 用 ツ を 施 設 の 充 実 す	①陸上競技場の 建設（改修）に 着手	【平成26年3月までの実施内容】 陸上競技場改修のため、競技施設及びセンター ハウスの実施設計を行い、競技施設の舗装工事 に着手しました。	総合政策部 スポーツ推 進室	☆☆☆☆ 3
	②アイスホッ ケーの殿堂を誘 致	【平成26年3月までの実施内容】 日本アイスホッケー連盟の進捗状況に歩調を合 わせるために、連盟との情報交換を実施し、殿 堂設置に向け努めました。 【今後の実施予定内容】 殿堂設置に向け、日本アイスホッケー連盟との 協議を引き続き進めていきます。	総合政策部 スポーツ推 進室	
(4) 市民参 加型健 康事 業の取 組 み を 充 実 す	①市民ウォーキ ング祭り、シニ アスタンプラ リーなどの実施	【平成26年3月までの実施内容】 平成23年からウォーキングラリー「みんなで 歩こう会」を年5回と、ウォーキングフェス ティバルを体育の日に実施し、健康に対する意 識啓発とスポーツ祭の充実に努めました。	健康こども 部 健康支援課 総合政策部 スポーツ推 進室	☆☆☆☆ 5
	②「みんなでふ くし大作戦！」 をまちぐるみで 実施	【平成26年3月までの実施内容】 「みんなでふくし大作戦！」を展開し、あいさ つ声かけ運動や絆フェスティバル、認知症サ ポーター養成事業等にまちぐるみで取り組みま した。	福祉部 社会福祉課 福祉部 介護福祉課	

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる暖かなまち苦小牧 愛します！

公約の内容		公約の取組状況	担当部課	進捗度
<p>(5) 苦小牧の自然や文化財、歴史的建造物などの活用を図り、苦小牧をPRしていきます</p>	<p>①歴史的建造物の市民開放やフィルムコミッション活動</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>経済産業省の近代化産業遺産に認定された、王子製紙工場赤レンガ事務所と王子倶楽部や、国の登録有形文化財である北海道大学苦小牧研究林の森林記念館、森林資料館の見学等を実施し、歴史的建造物のPRに努めました。また、平成24年4月に、「とまこまいフィルムコミッション支援協議会」を設立し、撮影ロケーションに関する情報や支援内容等を発信するための公式ホームページ開設等により、ロケ撮影の支援や市民への普及活動を行いました。</p>	<p>産業経済部 商業観光課</p> <p>教育部 生涯学習課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>5</p>
	<p>②苦小牧の歴史やゆかりの再発見</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>静川遺跡等を巡る文化財発見ツアーの開催と、広報とまこまいに掲載された「苦小牧再発見」の冊子化により、苦小牧の歴史やゆかりのある文化財についてPRしました。</p>	<p>教育部 生涯学習課</p>	
<p>(6) 市民の自主的協働活動を支援します</p>	<p>①NPO関連事務権限の道の移譲</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>NPO法人の設立認証等に関する事務について、平成26年10月から移譲を受けることとなりました。</p>	<p>総合政策部 市民自治推進課</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>5</p>
	<p>②地域スポーツクラブへの支援</p>	<p>【平成26年3月までの実施内容】</p> <p>トップアスリートによる村主章枝スケート教室、バスケットボールクリニック、ソフトテニスセミナーを開催し、地域スポーツ活動の活性化と地域スポーツクラブの自主的活動の支援に努めました。</p>	<p>総合政策部 スポーツ推進室</p>	

市長公約の取組状況（平成25年度までの実施内容）

発行 平成26年5月

苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

電話 0144-32-6039（直通）

FAX 0144-34-7110

E-mail seisaku@city.tomakomai.hokkaido.jp